

年頭のごあいさつ



熊本県国民健康保険団体連合会
理事長 大西 一 史

平成 31 年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

保険者の皆様方には、日頃から本会の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国保制度におきましては、年齢構成が高く医療費水準が高いことなど構造的な課題を抱えており、国保の運営は極めて厳しい状況が続いてきました。

こうした状況を踏まえ、国では、昨年 4 月より国保運営の在り方の見直しと国保の財政基盤の強化を大きな柱とする制度改革が実施されました。都道府県が国保の財政運営の責任を負うとともに、国保に投入される公費の拡充などの財政支援の強化が図れることとなり、国保財政の安定化につながるものと期待しているところでございます。

また、国においては、高齢者の人口がピークを迎える 2040 年を見据え、健康寿命を 3 歳以上伸ばすことを目指しており、市町村と都道府県に対し、被保険者の予防・健康づくり事業を推進するほか、医療費適正化を進めていくことを強く求めています。

このような中、本会におきましては、制度改革に伴い市町村ごとに保有する資格情報を一元管理する国保情報集約システムを稼働したところであり、引き続き、システムの安定運用に努めているところでございます。

また、保険者機能をさらに発揮できるよう、健診・医療・介護のビックデータを横断的に活用できる「国保データベース（KDB）システム」による各種データ提供等の支援をはじめ、国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の中核となる「保健事業支援・評価委員会」による保健事業支援など、より効率的で効果的な支援に努めてまいります。

今後も、基幹業務である審査支払業務の充実・強化や保険者ニーズに応える事業展開を行うとともに、社会情勢に的確に対応するため、職員の意識向上を図りながら、さらに努力してまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、本会に対し、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様方にとりまして、素晴らしい年となりますことを祈念申し上げます。新年のごあいさつとします。